

「平成26年度JCCPプログラムセミナー」の開催

今年度のJCCPプログラムセミナー（TCJ）は、12月11日（木）から17日（水）の7日間において実施しました。このTCJは、産油国国営石油会社のJCCP研修窓口部門の担当者または責任者を招き、レギュラーコースのダイジェスト版に参加していただき、自社の研修生がどのような研修を受け、どのように日本に滞在しているのかなど理解を深めて頂くと共に、今後の研修内容について具体的な打合せをするために、年に1度、開催しております。

今年度のTCJの特徴は、対象国を絞り、カスタマイズ研修のプログラム構成や技術協力について具体的な内容の話をしたく、研修窓口関係者だけでなく技術者のペアで招聘しました。また、会員企業とのビジネスミーティングを設けました。

今年度の対象組織は、大きな組織編成と人事異動があったインドネシアのプルタミナ（PT. PERTAMINA）とプルタミナ大学（PERTAMINA University）と社内研修制度の充実に向け協力要請のあったオマーン石油精製・石油化学会社（Orpic-Oman Refineries and Petroleum Industries Co.）を招聘しました。JCCP事業にとって、両社共に研修派遣元として決定権のある重要な人物の参加を得ることができました。

セミナーの内容は、以下の通りです。

- ① 日本の文化と習慣（玉川大学の江里口先生）
- ② 日本の石油産業（JCCP 丸毛レクチャー）
- ③ JCCPプログラムにおける詳細説明（業務部）
- ④ 島津製作所本社・三条工場訪問
- ⑤ 富士石油袖ヶ浦製油所訪問
- ⑥ JCCPと参加者による個別面談
- ⑦ 企業ミーティング
- ⑧ 参加者によるプレゼンテーション

個別面談では、それぞれの組織が抱えている問題点やJCCPへの要望を聴取することができました。カスタマイズ研修や技術協力を実施するうえで貴重な材料になると思います。

また、組織編成による人事異動について確認することができました。特に、プルタミナ大学については、人事部門に設立された企業内大学でありプルタミナのすべての研修事業を総括して実施していることが分かりました。来年度に向け具体的な研修協力内容や今後の課題について打合せを実施することができました。

実施研修先への訪問は大変好評でした。島津製作所本社訪問では、創業者の精神に根差した経営理念に基づき、人材育成・管理が構築されていることを知る事ができ、日本独特の人材管理システムを学びました。今回の参加者は人材育成担当または数十名の部下を持つ管理職だったので、実務に直結する講義内容がマッチしたのだと思います。また、前日の京都歴史文化研修にて島津製作所の資料館を訪問していたため、創業者の精神を詳しく知ることができ、理解をより深めることができたと思います。

富士石油袖ヶ浦製油所訪問では、製油所の概要と熱分解装置について詳細な説明を受けました。なかでも世界に同製油所にしかない減圧残油熱分解装置（EUREKA）について詳しい説明がありました。運転が難しいにも関わらず、第1号基を建設し、現在まで30年以上にわたり順調に稼働していることに驚いた様子でありました。

7日間のプログラムを通じて、JCCP研修に派遣された方々がどのように過ごし、どのような研修を受けているのか、理解いただけたと思います。送り出す側と受ける側の相互理解が深まり、信頼関係を築くことができました。今後は、JCCPの良き理解者・パートナーとして、様々な場面でJCCP活動のサポートをしてもらえることと思います。また、研修に対する評価や要望は、今後の事業に活かし、より一層ニーズに合った研修や技術協力を提供できるようにしていきたいと考えております。

（業務部 北原 ますみ）



島津製作所 Science Plaza を見学



富士石油袖ヶ浦製油所にて